

競 技 注 意 事 項

本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

1 練習について

練習は、補助競技場および雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。投てき競技（円盤投・ジャベリックスロー）の練習については、メイン競技場を使用すること。練習を行う際は係員の指示によって行う。

○補助競技場の使用について

レーンの使用については以下の通りである。

- ・1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
- ・3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
- ・ブロックを使用してのスタート練習は多目的広場側直走路7～10レーンのみとする。
- ・多目的広場側直走路7・8レーンは女子100mH、9・10レーンは男子110mHとする。

○雨天練習場の使用について

- ①雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ②雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ③シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ④ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。それ以外は、補助競技場で行うこと。
- ⑤ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ⑥ハードルは使用できない。

○棒高跳・投てき（円盤投・ジャベリックスロー）について

競技開始60分前から現地にて練習を行うことができる。ただし、他の競技に影響がでないように、審判員の指示に従うこと。

2 スパイクシューズ等の制限について

①全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。

②競技で使用するスパイク及びシューズについて招集所にて点検します。

※陸協HP掲載（日本陸連HP：WA規則第143条（TR5：シューズ）のルール再改定について）資料を確認してください。

③点検時に規格外スパイク及びシューズと判定されたシューズは使用できません。

※故意に規格外スパイク及びシューズを使用した選手がいた場合、トラック種目では同じ組で競技した選手全員、フィールド種目では同じ種目で競技した選手全員の記録が公認されません。

④規格外スパイク及びシューズについて、審判員の注意・指導に従わない競技者には、今後の競技会参加も含め、厳しく対応いたします。

3 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- ①アスリートビブス（ナンバーカード）は指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（棒高跳・三段跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
- ②トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横やや後方につけること。

4 選手招集について

- ①**選手招集場所は、第2ゲート付近とする。**
- ②選手招集開始・完了時刻は下記のとおりとする。

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目		競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド種目	男女 三段跳	競技開始40分前	競技開始30分前
	男女 棒高跳 男女 円盤投 男女 ジャベリックスロー	競技開始60分前	競技開始50分前

※棒高跳・投てき（円盤投・ジャベリックスロー）は、現地で招集を行う。

- ③招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- ④2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出る。

5 競技について

- ①競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ②その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ③トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。
「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」
- ④スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
- ⑤短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- ⑥レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- ⑦競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- ⑧跳躍・投てき種目の試技は3回とする。
- ⑨携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技場内に持ち込むことはできない。コーチエリアからのコーチの持つ映像を見せることはできる。ただし、選手が機器等を手に持って画像を確認することはできない。
- ⑩フィールド競技における競技中の選手への水分の差し入れについては、競技該当審判員を通じて選手に手渡すことができる。

6 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。
個人所有のポールの検査は最終点呼時に跳躍審判が行う。
- ②練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいならない。

7 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：使用しない。

第2ゲート：1500mおよび棒高跳・投てき競技

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および三段跳

8 跳躍競技について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方については、下記の通りである。

		練習			
棒高跳	女子	160	170~210まで20cm刻み	210cm以降10cm刻み	

三段跳の踏切位置は、男子 11m00 女子9m00 とする。

9 その他

- ① やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ② 応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③ 更衣室については、大会受付後方スタンド内通路を入れて右側にあるので利用してもよい。
- ④ 記録は、記録の掲示については、大型映像で表示しません。競技終了後、メインスタンド下正面玄関付近に掲示します。ただし、確認する際は、「密」を避けるため、短時間で確認し、その場で話をしないように注意してください。